

## 平成 20 年度計画の概要

20 年度計画の策定にあたっての考え方

- ◇ 新たな事業展開を目指した計画の策定
- ◇ 目標数値の達成に向けた計画的な数値設定
- ◇ 次期中期目標・中期計画に向けた将来像の策定

### 教育・研究のさらなる充実

大学の基本的な使命である教育の一層の充実を図り、高度研究型大学に相応しい研究を推進する。

1. 文部科学省教育補助金を活用した教育の実質化
  - ①現代GP取組事業：地域学による地域活性化と高度人材育成(H17～20)
  - ②特色GP取組事業：大学初年次数学教育の再構築(H19～21)
  - ③がんプロフェッショナル養成プラン：6大学連携オンコロジーチーム養成プラン(H19～23)
2. 国際感覚に優れた人材の養成
  - ①英語による授業や招聘外国人研究者による講義の実施
  - ②英語のネイティブクラスの充実、CALL システムの活用
  - ③海外での語学研修の充実、TOEIC 顕彰制度の実施
3. 先端的研究・重点化すべき研究の推進
  - ①環境問題の解決に向けた全学的取組み
  - ②学内提案公募型共同プロジェクトの実施
4. 教育研究体制の充実
  - ①総合リハビリテーション学研究科(博士後期課程)の設置準備(平成 21 年 4 月設置予定)
  - ②「21 世紀科学研究所」の拡充
  - ③サバティカル制度の導入
5. FD活動の推進
  - ①FDワークショップ、新任教員FD研修の実施
6. 統合情報システムの充実
  - ①情報教育システムのリプレイス(平成21年2月予定)
  - ②講義支援システムの本格運用
7. 学生への支援の拡充
  - ①ワンストップサービス機能の充実(WEB学生サービスセンターの運営など)
  - ②就職支援の充実(留学生・未内定者)
8. 教育研究組織のあり方の検討
  - ①大学の将来像(ビジョン)の策定

### 社会貢献の推進

公立大学が果たすべき社会貢献について積極的に取り組む。

1. 社会人に開かれた大学の運営
  - ①中之島サテライト教室の設置(院生向け講義、公開講座)
  - ②社会人のリフレッシュ教育の充実(「産学教育連携」の推進)
  - ③公開講座の充実(26 講座→27 講座)
2. 産学官連携の拡充
  - ①学内提案公募型共同プロジェクトの実施
  - ②共同研究・受託研究の件数の増加(共同 210 件→240 件、受託 130 件→140 件)
  - ③特許出願件数・特許取得件数累計の増加(出願 90 件→95 件、取得累計 12 件→30 件)
3. 府政や地域の大学との連携の推進
  - ①堺市との連携体制の拡充
  - ②大阪市立大学との包括連携協定に基づく教育・研究活動全般の交流・連携
  - ③新たな連携体制の確立(大阪府立病院機構、大阪府立産業技術総合研究所)
4. 国際貢献
  - ①JICAプロジェクトを通じた環境分野での国際協力

### 業務運営の改善・充実

全学的な大学運営を実施し、業務運営・財務内容の改善を図る。

1. 全学的な大学運営の推進
  - ①全学的な視点に立った経営戦略の推進と予算の重点配分の実施
  - ②申請方式による基盤研究費配分制度の導入
  - ③役員支援及び総合調整機能の強化(総合調整室の設置)
  - ④監査室の設置
2. 人事制度の見直し
  - ①裁量労働制の導入
  - ②任期付の特別教授制度の導入
  - ③職員研修(SD)の充実
  - ④教員組織のスリム化(19 年度に比して概ね 10 名減)
3. 財務内容の改善
  - ①外部研究資金の獲得(法人化前に比し30%増の確保維持)
  - ②省エネルギー・光熱水費の抑制(削減目標の設定など)
4. 評価システムの確立
  - ①自己点検・評価の実施とPDCAサイクルの確立
  - ②大学評価・学位授与機構の認証評価(平成 21 年度)の準備
5. 中百舌鳥・りんくう両キャンパスにおける教育・研究環境の整備
  - ①獣医学舎、先端バイオ棟、サイエンス棟の整備(平成 21 年 4 月供用予定)